

いけだ

令和7年(2025年)1月1日
IKEDA City Council News

No.
192

市議会だより

* 目次 Contents

新年のごあいさつ 2・3
議長・副議長、各議員団

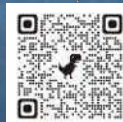
委員会レポート 4・5

予算決算審査サイクル..... 6

やまばと 6

池田市議会本会議の
ライブ中継を
開始しました！

池田市議会 ライブ中継



謹賀新年



議長
あらき 木 末 澄
ま す み



副議長
さか が み し ょ う え い
坂 上 昭 栄

新年明けましておめでとうございます。謹んで
新年の御挨拶を申し上げます。

平素より、池田市並びに池田市議会に多大なる
御支援と御協力を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年は、1月1日に能登半島を、また、8月8
日には日向灘を震源とする大地震が発生いたしま
した。本年1月17日は、阪神・淡路大震災から
30年を迎えます。今後、南海トラフ巨大地震の
発生も想定されており、改めて私たちは防災・
減災の取組を一層強化する必要性を感じており
ます。本市議会といたしましても、地域の安全・
安心を守るため、市民の皆様とともに災害に強い
まちづくりに全力で取り組んでまいります。

さて、本市議会は開かれた議会を目指し、議会
改革に取り組んでおります。前議長の下で検討い
たしました本会議のインターネットによるライブ
中継を昨年の9月定例会から開始いたしました。
また、本市議会の広報紙である「市議会だより」
を昨年の8月1日号から2色刷りだったものを全
ページフルカラーにするとともに、レイアウトを
横書きにして、より見やすいものにリニューアル
いたしました。是非ご覧ください。

今後も第7次池田市総合計画のキャッチフレー
ズである『だったらいいな』を叶える「いけだ」
の実現のため、全ての世代にとって住みやすく、
誇れるまちであり続けるよう、さらなる市政の発
展に向け、市議会一丸となって取り組んでまいり
ます。

結びに、市民の皆様の御健勝と御多幸を心より
お祈り申し上げまして、新年の挨拶といたします。

大阪維新の会池田

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願
いいたします。

池田市の市税収入は、2019年度は183億円、2023年
度には169億円と8%減少しています。人口減少も現実問
題となり、今後厳しい財政計画が予想されています。

大阪維新の会池田は、方針を明確にすべく、維新池田八
策を作成しています。(1)私たちの信条の明確化、(2)議会
改革、(3)行政改革、(4)行財政改革、(5)安心安全な街づ
くり、(6)住みたい街づくり、(7)ダイバーシティ推進、(8)
教育改革。

財政事情も踏まえ、最終的に議員定数削減、議員報酬低
減を目指します。皆様の御健康と御多幸を祈念いたします。



ささむら ゆり子
笹村 有理子



みやち まさき
三宅 正起



あぐら よしお
安黒 善雄



ふるかわ ひろのり
古川 裕倫



おさもと じゅんこ
沖本 純子

未来はぐくむプロジェクト

新年あけましておめでとうございます。

本年も引き続き、開かれた親しみやす
い会派であるよう努力いたします。皆様
から御意見をお寄せいただくとともに、
私たちのほうからもお考えを伺いに行く
身近な存在になれるよう、地道に歩ん
でまいります。御指導御協力のほど、ど
うぞよろしくお願いいたします。

本年が皆様にとりまして健やかで幸多
き一年になりますよう、御祈念申し上げ
ます。



くら た
倉田 晃



なむら けんじろう
名村 研二郎



そのべ けいこ
園部 佳子

日本共産党

新年おめでとうございます。
 激動する政治情勢の下、私達の願い
 が実現する展望が切り開かれつつあり
 ます。今ほど市民の命・暮らしを守る
 政治が求められているときにはありま
 せん。市民の願いに応える市議会へ、
 全力挙げて頑張ります。
 本年もよろしくお願いします。



やま もと たけし
山元 健



ふじ わら みろこ
藤原 美知子

公明党

新年を迎え、市民の皆様にご多幸がありますようお祈
 りいたしております。

私たち公明党は、「政治は手段であり、その目的は市
 民の幸福と平和」だと考えます。

最近では、世代間対立をあおるような政治手法が散見
 されますが、そうした考えとは一線を画し、世代、性別、
 あるいは障がいの有無を問わず、全ての市民が「池田市
 に住んでいてよかった」と実感できるよう、人間中心の
 姿勢を貫いてまいります。



た だ りょういち
多田 隆一



あら さ ま すみ
荒木 眞澄



ふじ もと まさひろ
藤本 昌宏

池田未来の会

新年あけましておめでとうございます。
 市民の皆様におかれましては健やかに新年をお迎えの
 こととお慶び申し上げます。

私たち池田未来の会は結成から一貫して「市民目線」
 での政策を市政に反映出来るよう努力しております。現
 在も緊張状態が続く国際情勢の不透明感や本市でも進展
 する少子高齢化に伴う人手不足など社会に課題は山積し
 ておりますが、地域における最適な政策の「カタチ」を
 皆様のお声を頂きながらつくり上げる所存です。

池田未来の会は本年も皆様と共に身近な市政を目指し
 て活動してまいりますので、何卒よろしくお願い申し上
 げます。



なか た まさのり
中田 正紀



もり や ひろみち
守屋 大道



さか がみ しょうえい
坂上 昭栄



しも こ あきら
下 窄 明

自由民主党

新年あけましておめでとうございます。
 輝かしい新年を健やかにお迎えのこと
 とお慶び申し上げます。

子育て支援、福祉の充実、災害対策等、
 市民の皆様の目線に立ち、暮らしを守る
 政策を着実に前に進め、次の世代に豊か
 で平和なまちを引き継ぐべく尽力して
 まいります。

本年も皆様にとりまして、素晴らしい
 年になりますよう、心より御祈念申し
 上げます。



こばやし よしのり
小林 義典



はま ち しんいちろう
浜地 慎一郎



まつ もと こうじろう
松本 康二郎

無所属

謹んで新春のお慶びを申し上げます。
 本年もより一層精励いたしますので、
 引続き御指導のほど、よろしくお願い
 申し上げます。



にし がき さとし
西垣 智

議員の年賀状・暑中見舞い・寄附
 行為は、法律で禁止されています。
 また、祝電・弔電についても、申し
 合わせにより自粛しています。
 市民の皆様のご御理解と御協力を
 お願いいたします。

総務委員会

府・市合同庁舎の今後の整備方針は《一般会計》

問 府・市合同庁舎の維持管理費用として修繕料約2,200万円を執行している。合同庁舎は老朽化がかなり進んでいると考えるが、今後の整備方針について問う。

答 本市としては合同庁舎を今後も20年以上使用したいと考えている。

現在、庁舎の躯体部分に係る耐久性調査を実施しており、来年度以降については、配水管や電気配線などの設備調査の実施を検討している。

今後、設備等の劣化状況を見極めて修繕に係る優先順位や費用の算出を行った上で、庁舎の長寿命化計画を策定したいと考えている。

自主防災組織結成に係る地域差に対する見解は《一般会計》

問 自主防災組織育成事業に係る理事者による成果指標の達成状況は、自主防災組織の未結成の小中学校区がないことを判断理由に高評価になっている。

しかし、校区によって地域差があるように考えるが、見解を問う。

答 指摘のとおり、各小中学校区全てをカバーする一つの自主防災組織が結成された校区がある一方、校区内の町内会や自治会ごとに自主防災組織が結成されているなど、校区によって実情が異なっている。

本市としては小中学校区ごとに一自主防災組織があるのが理想的であると考えているが、まずは、校区ごとの実情に応じた支援策を講じながら、地域差をなくしていけるよう、取り組んでいきたいと考えている。

文教病院委員会

令和9年度の黒字化達成に向けた取組は《病院事業会計》

問 令和5年度の本会計決算は、新型コロナウイルス感染症関連の補助金制度が年度途中で廃止されたことなどに伴い、約9億5,866万円の赤字決算となった。

このような厳しい経営状況の中、令和6年2月に策定された「市立池田病院経営強化プラン」では、計画期間の最終年度となる令和9年度の黒字化を目標に掲げているが、目標達成に向けた取組について問う。

答 指摘のとおり、当院は現在、非常に厳しい経営状況であると認識している。

公立病院の経営は、全国的にも患者数の減少や人件費等の費用の高騰、診療報酬の改定などの影響で困難を極めており、通常運営でも赤字が出る危機的な状況が続いている。

このような中、今年度は早い段階から患者数を増やす増患に関する検討や、各診療科に対しては、診療費用の随時の見直しを具体的に指示したとこ

ろである。

今後もさらなる経営体質の強化を図り、まずは、令和9年度決算で黒字決算を達成できるよう、邁進していきたい。

教職員の勤務時間外労働の改善策は《一般会計》

問 近年、教職員の長時間労働の是正が課題となっている。

教職員からは、勤務時間外に保護者や外部からの電話対応の改善を求める声が上がっている。

その対応策として各学校園に、留守番電話を導入してはどうかと考えるが、見解を問う。

答 指摘のとおり、教職員の深刻な長時間労働への対応策の1つとして、留守番電話の導入が効果的であることは認識している。

また、大阪府内の自治体においても、教職員の働き方改革の一環として、留守番電話の導入が進んでいると聞いているため、本市においても導入に向けて引き続き検討していきたいと考えている。

厚生委員会

今後の保険料抑制に向けた取組は《国民健康保険特別会計》

問 令和5年度の本会計決算は、単年度収支において、約1億783万円の赤字となった。

国民健康保険料は、被保険者の所得水準や年齢構造により、他の医療保険制度の保険料と比べて高く、国などからの支援が十分とは言えない中、今後どのような取組によって保険料を抑制しようと考えているのか、見解を問う。

答 国民健康保険料の抑制策については、長期的な視点に基づく健康づくりへの支援として、特定健診の受診率や特定保健指導の実施率のさらなる向上を目指すことにより、生活習慣病の発症予防及び重症化予防に注力している。

また、令和6年度から当該保険料が府内で統一されたことに伴い、これまで黒字傾向であった自治体の国保会計の繰越金を保険料抑制の財源に充てる仕組みも構築したところである。

被用者保険と国民健康保険との制度間における保険料の不公平感を解決するために、医療保険制

度の一本化について、今後も市長会を通じての要望を継続して行っていきたい。

「ふくまる子ども券」給付事業の総括は《一般会計》

問 子育て一時預かり利用券給付事業、すなわち「ふくまる子ども券」給付事業は、令和4年度末をもって終了し、経過措置期間を経て、令和6年度末には事業の終了を迎えるとのことである。

当該事業の総括について問う。

答 当該事業は国が妊娠・出産・子育てに伴う経済的負担軽減の支援策として妊娠届の提出時及び出産後にそれぞれ5万円を支給する出産・子育て応援交付金を創設したことを勘案し、事業終了に至った。

令和4年度の児童福祉法の一部改正において、一時預かり事業の対象に保護者の負担軽減の目的が追加されたことから、当該事業が先進的な取組として、育児への社会的なサポートの充実の役割を果たしてきたものと考えており、引き続き、包括的な子育て支援を提供していきたい。

土木消防委員会

2年連続で赤字となった主な要因は《公共下水道事業会計》

問 本会計決算は2年連続で赤字となったが、主な要因について問う。

答 本会計決算が赤字となった主な要因は、新型コロナウイルス感染症対策として実施していた下水道使用料減免の影響を除くと下水道使用料は減収、また、雨水処理に係る維持管理経費や減価償却費の増加により、一般会計からの負担金は増加し、収益全体で約3,100万の増加となったこと、昨今の燃料価格高騰により増加していた動力費は減少したものの、修繕費や工事請負費、職員給与費等の増加により、費用全体で約1,200万円の増加となったことによるもので、当年度純損益は前年度決算と比較して、約1,900万円収支が改善したものの、2年連続で赤字決算となった。

官民連携まちなか再生推進事業に係る負担金の内容、事業実施後の効果及び今後の展望は《一般会計》

問 官民連携まちなか再生推進事業に係る負担金内容及び事業実施後の効果について問う。

また、当該事業の今後の展望について問う。

答 当該事業に係る負担金の内容は、池田駅前における社会実験イベントおさんぽマルシェの開催等を運営している事業者への委託料である。

当該イベントを通して、池田駅南側の利活用策を具現化するとともに、隣接事業者ともその具現化したイメージを共有することができた。

その結果、池田駅南広場の再整備に向けて合意形成を図ることができた。

また、今後の展望については、当該事業を継続しながら、池田駅前の将来像を官民一体で共有し、その実現に向けて取り組むとともに、活動内容を情報発信し、地元以外の事業者の参画も図っていききたいと考えている。

令和7年度予算編成への提言について 予算決算審査サイクル

市議会として、令和5年度決算審査の結果を踏まえ、令和7年度の予算編成に生かすため、各委員会において、次の12の提言を取りまとめ、市長に提出しました。

総務委員会 関係

- 1 歳出削減及び歳入増の取組の推進について
- 2 あらゆる人権問題に係る取組の推進について
- 3 期日前投票所の拡充について



文教病院委員会 関係

- 1 教職員及び専門職の増員等について
- 2 教職員の働き方改革について
- 3 市立池田病院の安定経営及び医療従事者の確保について

厚生委員会 関係

- 1 各種がん検診及び精密検査の受診率の向上等について
- 2 保育の質の向上について
- 3 こども食堂への支援の拡充について



土木消防委員会 関係

- 1 道路整備関連予算の拡充について
- 2 地域公共交通の導入について
- 3 池田駅北側の再整備並びに公園遊具の定期点検等の実施について

やまばと

新春のお慶びを申し上げます。

市民の皆様には日頃より、市議会に対する御理解、御協力を賜りありがとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

昨年は、能登半島の地震に始まり、豪雨災害など自然の驚異にさらされ、未だ復興に時間がかかるなど、今ほど、人間と自然との共存、気候危機への対応が求められることはありません。

池田市議会も、自然豊かなまちづくり、そして何よりも市民の皆様が安心して住み続けられ

るまちづくりのため、福祉、暮らし、子育て、教育等々各分野の施策充実を目指し、研鑽を重ねていく所存です。

この間、本会議のライブ中継をはじめ、市議会だよりの紙面刷新など、市議会の内容を市民の皆様にお伝えできるよう、取り組んでまいりました。今後とも、本紙、「市議会だより」を御愛読賜りますよう、お願い申し上げます。



市議会だより 編集特別委員会

- | | |
|-------------|--------------------|
| ● 委員長 藤本 昌宏 | ● 副委員長 下窄 明 |
| ● 委員 松本 康二郎 | 古川 裕倫 園部 佳子 藤原 美知子 |

いけだ市議会だより No.192
令和7年(2025年)1月1日発行

編集発行：池田市議会 <https://www.city.ikeda.osaka.jp/>
〒563-8666 大阪府池田市城南1丁目1番1号
TEL. 072-754-6170 FAX. 072-753-5414

